令和３年度地震・津波防災訓練
（内閣府・千葉県富津市）

実施報告書
（概要版）

千葉県富津市について

富津市は、房総半島の西部に位置し、県庁所在地である千葉市から約40kmに位置する。西部は東京湾に面している。

富津岬から北側は京葉工業地帯となっているが、南側は南房総国定公園に指定され、フェリーターミナルの浜金谷港や地方港湾に指定されている上総湊港、多くの漁港を有する。

富津市では、平成26年度まで小学校区単位で総合防災訓練を実施してきたが、同じ学区内でも津波災害や土砂災害など環境によって災害想定は異なることを踏まえ、平成27年度から、地区単位による各地区主催の防災訓練を実施している。

令和元年房総半島台風の経験から、風水害に対する備えや意識は高いが、津波災害に関しては、脅威の認識はあるものの、被害地域が沿岸部に限定され、かつ、その経験値も乏しいことから、津波避難訓練の実施と地区防災計画の見直しを実施する運びとなった。

出典：国土地理院

訓　練　概　要

■訓練想定：令和4年2月6日（日）午前9時、相模トラフを震源とする大地震が発生し、富津市では震度6弱の揺れに見舞われた。地震発生後、気象庁は直ちに千葉県内房に対し大津波警報を発表した。竹岡地区の住民は、大きな揺れの間、机の下に入るなどして自らを守る行動を行った。揺れがおさまったのち、住民は竹岡地区沿岸に地震発生から約10分以内に津波の影響が始まり、その後最大高さ10mの津波が到達することを想定し、最寄りの避難場所や高い場所へ避難を開始した。

■実施日時：【訓練実施前WS】令和4年1月23日（日）10:00～12:00　※中止
【訓　　練】令和4年2月 6日（日） 9:00～12:00　※中止
【訓練実施後WS】令和4年2月27日（日）10:00～12:00　※中止

■訓練対象地区：富津市竹岡地区（シェイクアウト訓練は市内全域）

■主　　催：富津市、内閣府

■参加者数：WS・避難訓練 参加延べ人数　330名（予定）

■参加機関：富津市竹岡地区、富津市消防団、富津市消防本部、富津警察署、富津市役所　等

訓 練 の 評 価

地区防災計画策定に係る地震津波避難訓練及びワークショップは、横浜市立大学 国際教養学部 都市学系 都市防災計画研究室 石川 永子 准教授の指導のもと、内容を検討した。富津市竹岡地区は、海岸に近い避難場所が急峻な高台上に位置している等の条件を踏まえ、訓練及びワークショップの課題は、地区住民の知見を生かした避難経路と公共施設以外の避難場所の再認識・検証を主眼とした内容を検討した。47%と極めて高齢化率が進展していることから、自動車を利用した集団避難訓練も検討した。

ワークショップは、訓練対象地区である竹岡地区の地震・津波発生時の避難経路上の危険箇所や防災資源について、グループに分かれて話し合う内容を計画した。

避難訓練（実動訓練）は、市全域を対象としたシェイクアウト訓練のほか、竹岡漁港を起点に事前ワークショップで考察した避難要領をもとに、それぞれの避難場所へと避難を実施する訓練を計画した。また、同日には「地域で考える津波避難～共助と地区防災計画の重要性～」と題して、石川准教授による防災に関する講演会を実施し、防災意識の高揚を図る計画であった。

新型コロナウィルス感染症拡大の影響によりワークショップ及び訓練は中止となったが、本計画を活用し来年度以降実施する予定である。

令和４年１月23日（日）　事前ワークショップの計画

実施に当たり、竹岡地区の現地調査、地元区長への説明会及びヒアリングを実施し、住宅地から旧竹岡小学校に至る経路上の危険箇所の調査を実施した。

ワークショップでは、避難経路上の危険個所のマッピングおよび、地震発生から避難場所へ到達するまでのタイムラインについて検討を実施することとした。

なお、ワークショップの各班には事前に研修した学生およびスタッフによる書記を配置し、円滑なグループワークの実施補助をすることとした。

▼津波遡上リスクのある地区内を流れる白狐川を現地調査

▼避難経路である県道91号とＪＲ内房線の交差地点

▼指定避難場所以外の避難可能箇所（神社）

▼竹岡地区コミュニティセンターにおける区長らへの説明

▼説明会における地形図を使用したワーク作業

▼地形図に津波避難が可能な施設を記入

令和４年２月６日（日）シェイクアウト訓練・津波避難訓練の計画

市内全域で一斉に安全確保を行うシェイクアウト訓練を行い、その後、海岸沿いの市街地・漁港から高台上の指定避難場所へ、徒歩による避難訓練を行うこととした。予め現地調査では避難経路上の危険箇所だけでなく、地区内に点在する防災資源等を調査し、この訓練に資することとした。

訓練後は、旧竹岡小学校体育館にて「地域で考える津波避難～共助と地区防災計画の重要性～」と題して、石川准教授による防災に関する講演会を実施することとした。

▼避難開始場所となる竹岡漁港

▼避難経路上の危険箇所（吹付コンクリート）

▼避難経路上の危険箇所（石垣・急勾配）

▼津波避難場所・萩生集会所と防災倉庫（海抜18.9m）

▼避難に資する防災資源（リヤカー）

▼防災資源（機材倉庫）

アンケート調査

住民の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を計画した。

特筆すべき内容としては、避難訓練時の参加者アンケートには地図を掲載し、実際に避難した経路と、経路上の危険箇所を書き込むことができる「参加者避難マップ」形式とした。このアンケートは回収後に集計し、多くの住民が避難した経路は太線にするなどして、避難時の行動を見える化することで、訓練実施後ワークショップ開催時に全員で課題共有できるようにした。また、集約した内容は地区防災計画の見直しをする際に活用できる設計とした。

富津市　地震・津波防災訓練　アンケート　　（裏面もあります）

質問1
あなたが避難した経路を地図上に書いてください。

質問２
自宅の周辺や避難経路上で、危険個所や避難が難しい場所等があれば×をつけてください。

質問３　質問２で×をつけた理由や状況を書いてください。

質問４　あなたやご家族が津波からの避難で心配なことがあれば書いてください。

質問5　地震発生から避難先までどれくらい時間がかかりましたか。

（約＿＿＿＿＿分）

質問6　あなたの町内会の「町内会自主防災会」等で取りまとめている避難に関する内容を再度検討して「地区防災計画」を作成することについてどう思いますか。

□ ぜひ作成すべき　　□ どちらかと言えば作成した方が良い
□ 今のままで良いと思う　　□ その他・よくわからない
(その他の理由：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)

質問7　地震発生後、あなたが津波避難場所へ避難する際の課題は何だと思いますか。

□避難経路の混雑　　□夜間の避難　　□要配慮者の避難等
□その他　（　　）

質問8　地震発生後、あなたが津波避難場所へ避難する際の課題は何だと思いますか。

□避難経路の混雑　　□夜間の避難　　□要配慮者の避難等
□その他　（　　）

質問9　本日の訓練は、今後の防災活動の充実を目的に実施しました。
地区防災計画にはどのような内容を記載すべきだと感じましたか。

次ページに続きます

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan